

## 平成 22 年度の経済動向について（内閣府年央試算）

平成 22 年 6 月 22 日

内 閣 府

我が国経済は、平成 21 年春を景気の底とする拡張局面にある。世界経済の緩やかな回復に加え、同年末の緊急経済対策により、高めの成長が実現している。このところは雇用・所得環境に底堅い動きがみられるようになり、平成 22 年度予算の執行を通じてこれら環境の改善は確実さを増していくと考えられる。

需要の増加が企業収益や雇用・所得の改善を通じて民間需要に波及することは、経済成長の好循環を生み出していく。このような循環の歯車がきっちりとかみあうことにより、我が国経済は自律的な回復力を強めていくと期待される。

以上を踏まえると、平成 22 年度の実質 GDP 成長率は政府経済見通しを上回る 2.6%程度と見込まれる。名目成長率は実質成長率を下回る 1.6%程度となり、デフレ脱却に向けて政策努力の継続が必要である。

消費者物価上昇率は、GDP ギャップ（供給超過）の縮小を反映して下落幅は縮小し、高校実質無償化の影響を除けば▲0.4%程度と見込まれる。

先行きのリスクとして、金融資本市場を含め世界経済の先行きの不確実性及びそれらが日本経済に与える影響が挙げられる。

## 主要経済指標

(%、%程度)

	平成 21 年度 (実績)	22 年度 (政府経済見通し)	22 年度 (今回試算)
実質国内総生産	▲2.0	1.4	2.6
民間最終消費支出	0.6	1.0	1.5
民間住宅	▲18.5	4.4	4.7
民間企業設備	▲15.3	3.1	4.2
政府支出	2.9	▲0.6	▲0.7
政府最終消費支出	1.6	1.4	1.7
公的固定資本形成	9.3	▲9.5	▲11.4
財貨・サービスの輸出	▲9.6	8.3	16.5
(控除) 財貨・サービスの輸入	▲11.8	5.2	8.7
内需寄与度	▲2.4	1.1	1.5
民需寄与度	▲3.0	1.3	1.7
公需寄与度	0.7	▲0.2	▲0.2
外需寄与度	0.4	0.4	1.1
名目国内総生産	▲3.7	0.4	1.6
完全失業率	5.2	5.3	4.8
雇用者数	▲1.1	0.3	0.6
鉱工業生産	▲8.9	8.0	13.8
国内企業物価	▲5.2	▲0.9	0.7
消費者物価 (総合)	▲1.7	▲0.8	▲0.9
(除 高校実質無償化の影響)			(▲0.4)
GDPデフレーター	▲1.7	▲1.0	▲1.0

(注 1) 平成 22 年度の「政府経済見通し」は、「平成 22 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度 (平成 22 年 1 月 22 日閣議決定)」で示された見通し。

(注 2) 我が国経済は民間活動がその主体をなすものであること、また、特に国際環境の変化には予見し難い要素が多いことにかんがみ、上表の諸計数はある程度幅を持って考えられるべきものである。

(参考1)

## 平成 23 年度 参考試算

平成 23 年度について一定の想定の下に試算すると、実質 GDP 成長率は 2.0%程度、名目 GDP 成長率は 1.7%程度、消費者物価上昇率は 0.0%程度になると見込まれる。

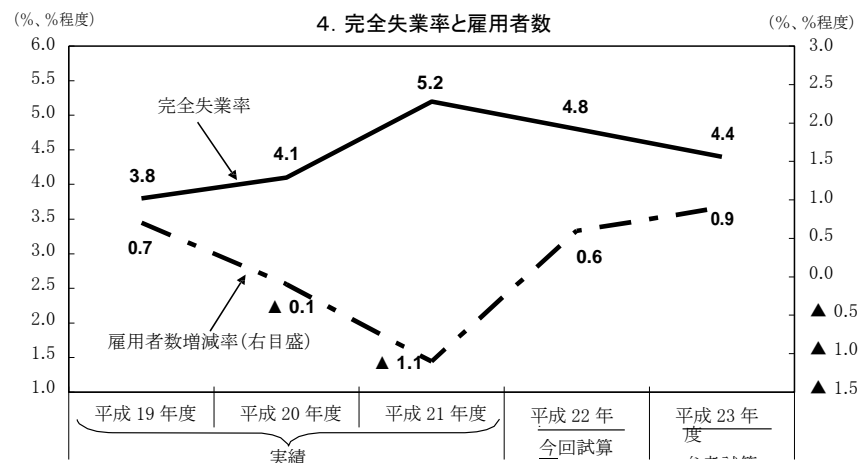
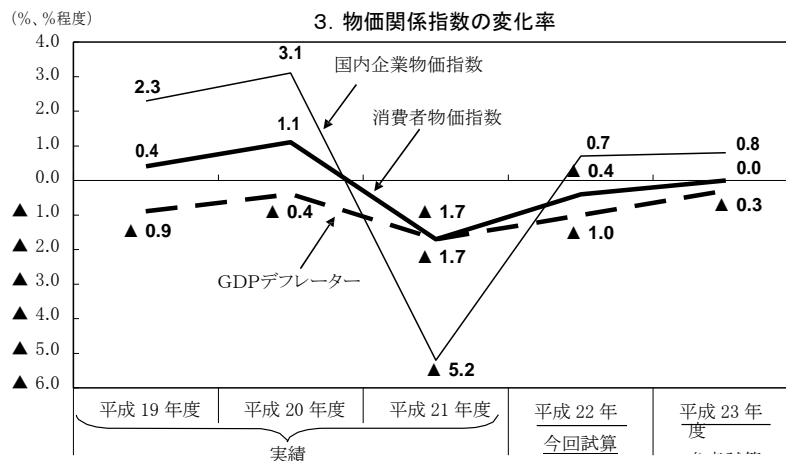
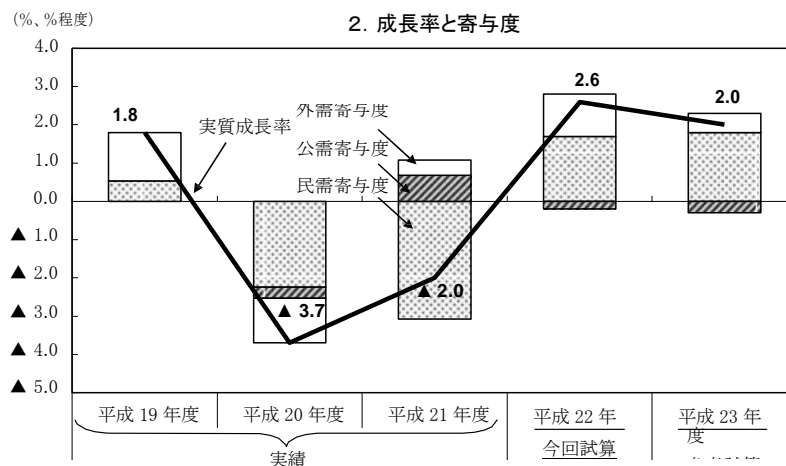
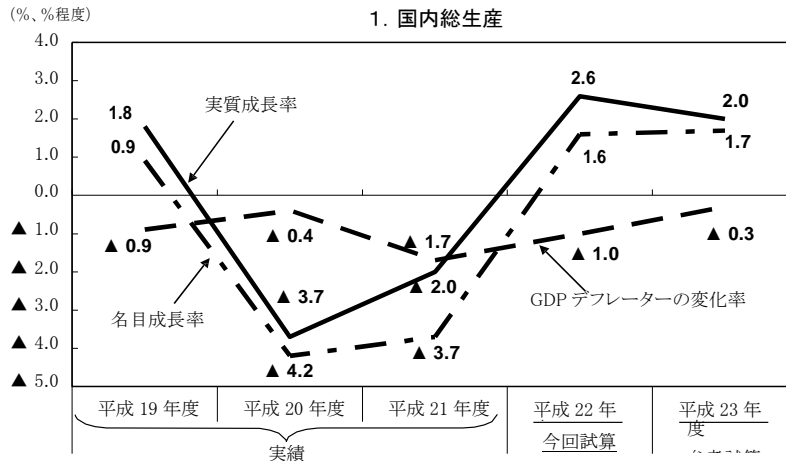
(%程度)

	平成 23 年度
実質国内総生産	2.0
民間最終消費支出	1.4
民間住宅	5.2
民間企業設備	5.8
内需寄与度	1.5
民需寄与度	1.8
公需寄与度	▲0.3
外需寄与度	0.5
名目国内総生産	1.7
完全失業率	4.4
雇用者数	0.9
国内企業物価	0.8
消費者物価（総合）	0.0
GDP デフレーター	▲0.3

(注1) 本試算は、平成 23 年度のマクロ経済を考えるための機械的試算であり、種々の不確実性を伴うため、相当な幅を持って理解される必要がある。

(注2) 平成 23 年度の政府経済見通しは、平成 23 年度における政策対応や今後の経済動向も踏まえ、年末に策定し閣議了解される「平成 23 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」で明らかにされる。

# 主な経済指標



## 年央試算に関する付注

- 1 完全失業率以外は対前年度比増減率。
- 2 「主要経済指標」における平成 22 年度（今回試算）の消費者物価（総合）は、上段は高校実質無償化の影響（寄与度▲0.5%程度）を含み、下段（ ）内は含まない。なお、平成 23 年夏には消費者物価指数の基準改定が予定されているが、参考 1「平成 23 年度参考試算」の消費者物価（総合）にその影響は織り込んでいない。
- 3 試算に当たり、以下の前提を置いた。なお、これらの前提は、作業のための想定であって、内閣府としての予測あるいは見通しを示すものではない。

	平成 22 年度		23 年度 (参考試算)
	(政府経済見通し)	(今回試算)	
世界 GDP（日本を除く）の 実質成長率（%）	3.2	4.0	3.5
円相場（円／ドル）	89.1	91.9	91.8
原油輸入価格（ドル／バレル）	80.5	78.1	77.3

（備考）

- ① 世界 GDP（日本を除く）の実質成長率は、国際機関等の経済見通しを基に算出。
- ② 円相場は、平成 22 年 6 月以後、91.8 円／ドル（同年 5 月 6 日～5 月 31 日の 1 か月間の平均値）で一定と想定。
- ③ 原油輸入価格は、平成 22 年 6 月以後、77.3 ドル／バレルで一定と想定（同年 5 月 6 日～5 月 31 日の 1 か月間のドバイ・スポット価格の平均値に運賃、保険料を付加した値）。